

日本原子力学会 核燃料部会  
平成 27 年度第一回運営小委員会議事録

日時 : 平成 27 年 5 月 25 日 (月) 13:30~16:30

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、山中副部会長、平井副部会長、安部田委員、池田委員、  
岩元委員、宇埜委員、逢坂委員 (JAEA)、尾形委員、草ヶ谷委員、  
鈴木氏 (JANSI、オブザーバー)、手島委員、寺井委員、永瀬委員、  
村瀬委員候補、巻上 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録等の確認

巻上庶務幹事から、資料 1-1 により、前回 (平成 26 年度第四回) 運営小委員会議事録が提示された。コメント反映済みであり、説明は省略した。

また、巻上庶務幹事から、資料 1-2 により、前々回 (平成 26 年度第三回) 運営小委員会議事録について、学会事務局の求めにより、平成 26 年度支出予定の記載を充実させたことが報告された。

2. 委員の交代について

巻上庶務幹事から、資料 2 により、森山委員から高木委員 (京都大学)、及び小野委員から村瀬委員 (原子燃料工業) への交代について、核燃料部会全体会議のメール審議を行う予定であることが報告された。

3. 核燃料部会運営小委員会名簿、業務担当について

巻上庶務幹事から、資料 3-1 と資料 3-2 により、委員交代のメール審議の後に、運営小委員会名簿と業務担当表を、核燃料部会ホームページに掲載予定であることが報告された。また、巻上庶務幹事から、翌年度以降を含む業務担当表 (資料 3-3) が報告された。

4. 燃料関係の安全性向上に関する課題 (ロードマップ) の検討体制について

平井副部会長から、資料 10 により、安全対策高度化技術検討特別専門委員会の最終報告書 (軽水炉安全技術・人材ロードマップ) の取りまとめ状況が報告された。

続いて、安部田委員から、資料 11 により、今後のローリングに備えるべく、燃料関係の安全性向上に係る課題を掘り下げて検討していく体制を構築

していくことが提案され、了承された。

議論の中で、軽水炉安全技術・人材ロードマップが規定する「既設の軽水炉の事故発生リスクの低減」にスコープを限定する必要はないこと、短・中期課題と中・長期課題それぞれに適した体制を構築する必要があること、特別専門委員会と各部会との連携は各部会共通の課題であることなどの意見が出され、これらも踏まえ、体制の構築を進めていくこととなった。

5. トリウム燃料の利用に関するワーキンググループ（WG）の継続について  
安部田委員から、資料 9-2 により、第 2 回トリウム燃料に関する国際セミナーの結果が報告されると共に、資料 9-1 により、トリウム燃料の利用に関する WG を継続することが提案された。各国で研究開発が進展しており、トリウム燃料利用への期待が高まっている中、これまでの WG 活動を通じて、各国の状況の調査も進んでおり、戦略的な観点を含めて検討を発展させる意義などが指摘され、WG の継続が了承された。
6. 第 20 回環太平洋原子力会議（PBNC2016）について  
巻上庶務幹事から、資料 13 により、2016 年 4 月に中国で開催される PBNC2016 に関して、原子力学会では核燃料部会と熱流動部会が技術プログラムの担当となっており、今後、対応が必要になる見通しであることが報告された。
7. 平成 26 年度支出予想、27 年度予算  
巻上庶務幹事から、資料 4 により、平成 26 年度末までの収支実績と平成 27 年度予算の状況が報告された。
8. 平成 26 年度核燃料部会活動報告  
平井副部会長から、資料 5 により、平成 26 年度の核燃料部会の活動状況を学会に報告していることが報告された。
9. 平成 27 年度夏期セミナーの準備状況  
草ヶ谷夏期セミナー幹事（平成 27 年度）から、資料 6 により、夏期セミナーの準備状況として、開催案内を部会ホームページに掲載し、部会員にメールで周知していることなどが報告された。  
また、手島夏期セミナー幹事（平成 28 年度）から、来年度の夏期セミナーに関しては、次回運営小委の前に、開催地の検討状況などを報告予定であることが報告された。

## 10. 核燃料部会報の状況

岩元広報（部会報）幹事から、資料7により、核燃料部会報（No. 50-2）の進捗状況が報告された。平成27年6月初旬発行の見通しであるが、特に本年度夏期セミナーの開催案内（6月12日に募集締切）が遅くならないよう、発行時期に留意すべきことが確認された。

## 11. 核燃料部会賞についての検討状況

池田国内企画幹事及び逢坂委員（JAEA）から、資料8により、部会賞の活性化を目的とした調査結果として、核燃料部会員の年齢構成、他部会における部会賞の実施状況などが報告された。活性化を図る方策に関しては、若手を重視すること、核燃料部会の特徴を踏まえた審査を行うことなどの意見が出され、今年度からの実施に拘ることなく、次回以降の運営小委と企画小委で検討を継続していくこととなった。

## 12. 核燃料部会ホームページの改定について

巻上庶務幹事から、資料12により、核燃料部会ホームページを改定し、平成27年4月30日にリリースしたことが報告された。

## 13. ポジションステートメント（PS）作成について

平井副部長から、資料14により、PS作成に関する企画小委での議論の状況などが報告され、今後の対応について議論を行った。現在の学会のPSには、解説を行うものや提言を行うものが様々ある中、核燃料部会としては、まずは燃料に係る課題の解説を、ホームページなどを通じて社会へ発信していくことを視野に入れて、次回以降の運営小委と企画小委で議論を進めるべく、サンプルを準備して委員で共有し、検討していくこととなった。

## 14. その他

平成27年度第二回運営小委については、2015年度秋の大会（平成27年9月9～11日、於：静岡大学）期間中に開催すべく、秋の大会のスケジュール、部会長と副部会長の予定などを勘案して設定することとなった。

以上